

議会だより



一射入魂 岩美中学校2年生
谷口優月さん優勝
(東部地区中学校体育大会新人戦)

9月定例会

- 2 インフルエンザ予防接種 無料で全町民に
- 3 元年度各会計の決算を認定
- 7 町民との意見交換を予定
- 8 6議員が町政を質す^{ただ}
- 14 岩美中部活にエール みんなでコロナを乗り越えよう

インフルエンザ予防接種 無料で全町民に

国の臨時交付金を活用



満1歳以上の全町民に無料でインフルエンザ予防接種

9月定例会

9月定例会を、9月15日から29日まで、15日間の会期で開きました。一般会計補正予算、各会計決算認定など、20議案のすべてを、原案どおり可決、認定、同意しました。

主な議案の概要と質疑

新型コロナウイルス対策を支援する国の臨時交付金を、9月補正を含め3億7577万円活用。

これまでに4月2988万円、5月7031万円、6月3676万円、7月1億8632万円の補正予算を講じています。

一般会計補正予算

1億5050万円を増額して、予算総額を81億1076万円としました。

歳出の主なもの

インフルエンザ予防接種
特別対策事業
2333万円

インフルエンザ予防接種を、満1歳以上の全町民に無料で実施。

公共施設等感染症
対策事業
121万円増額

役場庁舎などの窓口カウンターの感染防止のパーティションを設置。

非接触型納付システム
構築事業
404万円

町税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、上下水道使用料のオンライン決済が可能になる。

コンビニ交付サービス
導入事業
338万円

住民票、印鑑登録証明書、所得課税証明書、住民票記載事項証明書の交付が、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニなどで可能になる。

地域公共交通確保
対策事業
1700万円

感染拡大に伴う大幅な減収により、事業運営に影響を受けている民間路線バス運行事業者に対し、路線バスの運行維持を目的とした支援金を交付。

問 赤字補填ではなく、経営支援か。

答 毎年、国・県・町で赤字に対して支援をしている。

この交付目的は経営支援だ。

コロナウイルスの影響に対する部分は、国の交付金を活用する。

地域医療確保対策事業
500万円

感染拡大などに伴う受診控えの影響を受けている町内医療機関に対し、医療提供の継続を目的として一医療機関につき100万円の支援金を給付。

病院事業会計補正予算
9396万円増額

新型コロナウイルス感染症患者受け入れ態勢整備のため、スタッフの増員と医療機器を導入。病院での感染防止のため、施設を整備。

新型コロナウイルス感染症に対する役割を設定された医療機関で、患者と接する医療従事者などに対し、慰労金を給付。

元年度各会計の決算を認定

(4~5ページもご覧ください)

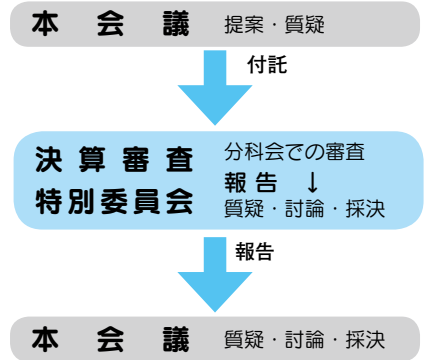
会計別決算額

(万円未満切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	74億3797万円	73億 506万円	1億3290万円
住宅新築資金等貸付特別会計	468万円	468万円	0円
代替バス運送事業特別会計	4612万円	4612万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3821万円	1億3801万円	19万円
国民健康保険特別会計	14億4394万円	14億1222万円	3172万円
集落排水処理事業特別会計	1億1174万円	1億1174万円	0円
公共下水道事業特別会計	4億7388万円	4億6474万円	913万円
介護保険特別会計	16億6687万円	16億1044万円	5643万円
水道事業会計	2億3478万円	2億3411万円	67万円
病院事業会計	20億1803万円	20億3034万円	△1231万円

注：水道事業会計と病院事業会計は、損益計算書（税抜き）による。

決算審査の流れ



本会議での主な質疑

一般会計決算

〔歳入〕

地方特例交付金

田中克美議員 従来の個人住民税減収補てんに加え、自動車税環境性能割制度のほか保育の無償化に伴う減収補てんが算定された。保育の無償化に伴うものは、いつ決定されたか。

大西企画財政課長

2年3月6日に、国から算定式が示された。

町税

田中克美議員 滞納に対して税の公平確保を強調するより、町民の生活実態を把握する立場で生活再建と自立を支援することが、納税につながるのではないかと。

長戸副町長

収納調整会議には、生活支援の視点を持って福祉課職員も同席させ、資力がある者には厳しく対応している。

〔歳出〕

安心コール活動

杉村宏議員

70歳以上の一人暮らしの方に電話で安否確認されているが、利用者103人全員に安否確認できているか。

濱野福祉課長

利用者全員に希望により、週、隔週又は月に1回の電話をかけ、何かあれば地域包括支援センターにつないでいる。

集落内除雪活動

支援事業費補助金

杉村宏議員 補助金申請の簡素化を検討する余地があるとされているが、他市町より複雑なのか。

飯野産業建設課長

同じくらいだと思つて。今後、制度を運用してみても、必要があれば事務処理や対象経費の見直しを相談し、より使いやすい制度にしたい。

特色ある学校づくり

推進事業補助金

田中克美議員

制度を始めたときの考え方や、20年継続されている意味をしっかりとらえて実施していくべきだ。

寺西教育長

導入当時の趣旨や先生方の思いに沿って毎年検討を加え、計画変更も柔軟に対応していきたい。

柳正敏議員

学校現場が一生懸命考えて、100万円を何をするか、各学校で決められることが何よりの特色だ。事業による教職員の負担に問題はなにか。

教育長

予算があるからしなければいけないと思えば負担になる。やりたいことは何か、先生方で議論してほしい。

空き家活用情報システム

柳正敏議員 優良物件が減少傾向にあると思う。今後の空き家登録の考え方はどうか。

企画財政課長 再度登録

済みの物件も併せて、全町の空き家状況を調査し、登録にふさわしいか整理したい。

病院事業会計決算

杉村宏議員

①平均在院日数が21日を超えると、どんな影響があるか。

②一般病棟入院基本料区分6から5への変更は、何を意味するか。

前田石美病院事務長

①平均在院日数が21日を超えると、国に届けている入院基本料が算定できなくなり、特別入院基本料を算定することになる。

②一般病棟入院基本料の区分により、診療報酬の基本料が異なる。

予算の使われ方をチェック

令和元年度の各会計の決算を審査し、令和3年度予算などに反映させるため、議長と議会選出の監査委員を除く議員10名で構成する決算審査特別委員会（橋本恒委員長）を設置しました。この委員会は、総務教育、産業福祉の両分科会で分担して審査し、各分科会委員長の報告をもとに決算全体の審査を行いました。議長はどの場面でも参加できるので、審査に参加し意見を述べました。その結果、いずれの決算も認定すべきものと決定しました。決算審査報告書（HP参照）のうち主な質疑・意見を掲載します。

一般会計

〔歳入〕

問 税負担の公平性を図るために、不納欠損額の削減に向けた取り組みと、悪質滞納者への滞納処分はどのようにしているか。

答 個々に応じた納付勧奨を早期から行い、滞納者の削減に努めている。滞納処分は、預貯金などを優先して差し押さえしている。

問 国税の減収が懸念されるが、交付税減少の手

当てとして、ふるさと納税などの収入確保に努めるべき。

答 町村会などを通じ、交付税総額の確保を国に要望している。

ふるさと納税は、受入窓口となるインターネットサイトを追加するなど、寄附の増加に努める。

〔歳出〕

住宅用太陽光発電等導入促進事業

問 ハウスメーカー及び町民への制度周知はどうか。

答 町及び県のホームページに補助内容を掲載し、問い合わせには制度の説明、PRを行っているが、今後は節電、停電時の有用性などの記述も加えたい。

地方バス路線維持費補助金

問 町民利用の実態が少ない岩井快速便に補助金を出す理由は。

答 高規格道路を活用して、町民の利便性の向上

が図られる新たな路線として補助を行った。結果的に利用が少なく、3年3月末に廃止予定だが、廃止までの期間の補助は3年度予算でお願いしたい。

支え愛ネットワーク構築事業

問 支え愛研修会の具体的な内容は。

答 地元に向いて、災害時要配慮者支援制度、支え愛マップ作成推進について説明し、意見交換や疑難的に支え愛マップを作成している。



一人暮らし高齢者に定期的な電話で安否確認
安心コール活動



利用申し込みが定員を超えることもある
岩美こども食堂

問 あんしんコール活動の周知方法はどうか。

答 毎年対象者全員に通知している。

また、独居訪問などで必要と判断されれば、包括支援センターや社会福祉協議会が声掛けをしている。

子どもの居場所づくり推進事業

問 利用の増加も考えられるが、今後の子ども食堂の在り方はどうか。

答 岩美こども食堂の申し込みが定員を超えるこ

ともあるので、新規の立ち上げ希望があれば、積極的に関わっていく。

生活困窮者自立支援事業

問 社会福祉協議会に委託しているが、財源などの町の関わりはどうか。

答 町は主導的に事業の推進に関わり、現場での指導、進捗管理などを行っており、養成研修受講費など必要な経費は委託料に含まれている。

生活保護事務費

問 生活保護制度と生活困窮者自立支援事業の連

携はどうしているか。

答 生活保護の相談から4件を自立相談支援事業につなぎ、支援を行ったが、自立相談支援事業から生活保護へはなかった。相互に連携しながら、支援や見守りをしていく。

問 自動車を保有して生活保護開始となった方はあるか。

答 生活保護開始となった方に、自動車の保有者はない。

意見 生活保護の受給に自動車保有は認められないと町民は思っている。自動車の保有を認められる場合について周知が必要だ。

コンポスト容器・家庭用生ごみ処理機等購入費補助金

問 設置可能な世帯に行き渡っているか。

答 概ね行き渡っていると思われるが、経年劣化による買い替えにも補助をおこなっている。



移住相談会で就農相談も実施

新規就農者総合支援事業
問 就農希望者からの相談はなかったか。

答 4件あった。兼業での就農希望や、就農への意思が固まらず、制度を活用した就農にはつながらなかった。

意見 就農の可能性のある相談者には、相談後もフォローし、新規就農者の確保に努めてほしい。

問 農業従事者の高齢化が進む中、担い手の確保の今後の取り組みは。

答 移住相談会での就農

相談、住宅家賃及び農地の賃借料の助成など町独自の支援策継続とともに、地域おこし協力隊の制度の活用も検討する。

多面的機能支払交付金事業

意見 広域組織加入のメリットをよく説明し、多くの集落に取り組んでもらえるようにしてほしい。

地籍調査事業

問 地籍調査済の地域をホームページで詳しく掲載することで、土地取引が活発になった自治体の事例がある。

もっと分かりやすく掲

載してはどうか。
答 登記済み地区を岩美町全図に色分けしてホームページに掲載しているが、さらに工夫したい。

消防ポンプ購入事業

問 更新に伴う古い消防ポンプは売却しているか。

答 修繕不能のため廃棄処分したが、今後、売却も検討したい。

代替バス運送事業特別会計

問 乗車人数が減少傾向だが、29人乗りではなく、14人乗り車両で対応できないか。

答 町営バスの乗降調査の結果、多いときで16人の乗車があり、14人乗り車両での対応は困難だ。

国民健康保険特別会計

意見 特定健診の日程が地区の行事と重なり、受診率が下がった。

受診の機会を逸しないよう、関係者と十分日程調整をしてほしい。

問 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施状況はどうか。

答 特定健診の受診結果などで、糖尿病傾向で透析に移行する可能性がある方を抽出し保健指導を行い、重症化予防に取り組んだ。

病院事業会計

問 経営、運営面での今後の方針は。

答 入院や外来、在宅医療を一体とした取り組みを継続し、医療ニーズの変化に対応していきたい。経営面では、資金の減少は避けるよう、健全な経営を目指したい。



集団検診（東地区コミュニティセンター）

9月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、認定、同意した議案】

議案
東部広域行政管理組合規約の一部を変更する協議
国民健康保険特別会計補正予算
介護保険特別会計補正予算
病院事業会計補正予算
教育委員会教育委員の任命同意
一般会計補正予算（追加補正）
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（議員発議）
総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査（議員発議）

議案
元年度決算の認定
一般会計
住宅新築資金等貸付特別会計
代替バス運送事業特別会計
後期高齢者医療特別会計
国民健康保険特別会計
集落排水処理事業特別会計
公共下水道事業特別会計
介護保険特別会計
病院事業会計

【賛否が分かれた議案】

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	2年度一般会計補正予算	可決	反対：杉村 宏
町長	元年度水道事業会計決算の認定	認定	反対：田中克美

【請願】

件名	結果	賛否の状況	不採択理由（常任委員会）
中国政府に香港民主活動家の「逮捕取り消し」等を求める意見書提出に関する請願 提出者 幸福実現党鳥取県本部長 広瀬 雅章 紹介議員 升井 祐子	採択 (意見書提出)	採択 橋本 恒、升井祐子 宮本純一、川口耕司 澤 治樹、田中克美	—
マイナンバー制度の利用範囲拡大の中止を要請する意見書の提出を求める請願 提出者 幸福実現党鳥取県本部長 広瀬 雅章 紹介議員 升井 祐子	不採択	採択 升井祐子、田中克美	マイナンバー制度は、利便性向上を図りながら、より効果的な運用、普及を進めていくべきである。

討 論

一般会計補正予算

反対（杉村 宏議員）

路線バス岩井線快速便は、県民の生活交通路線ではないから補助すべきでない。

水道事業会計決算の認定

反対（田中克美議員）

飲料水に課税したことは、生計費非課税の原則に反する。

中国政府に香港民主活動家の「逮捕取り消し」等を求める意見書提出に関する請願

採択（杉村 宏議員）

請願内容には賛同できるが、請願組織の文部科学省への対応に鑑み、趣旨採択とした。

マイナンバー制度の利用範囲拡大の中止を要請する意見書の提出を求める請願

採択（田中克美議員）

人権問題は国内問題ではない。中国政府に抗議し、弾圧の中止と釈放を要求すべきだ。

趣旨採択

（柳正敏議員）

願意の大部分に同意するが、既に日本政府は、国家安全維持法制定の際に遺憾の意を表明した。

採択

（升井祐子議員）

香港では、デモに参加しない市民や中学生も含めて、600人以上が逮捕された。

対岸の火事ではない。同じアジアの仲間として声を上げなければいけない。

マイナンバー制度の利用範囲拡大の中止を要請する意見書の提出を求める請願

採択（田中克美議員）

マイナンバー制度そのものが、プライバシーの侵害につながる。

新型コロナウイルス感染症対応に係る経費1億8632万円を増額。

財産の取得

小・中学校タレット
端末購入契約
取得価格 3666万円
納入者
（株）鳥取情報センター
納入期限 3年1月29日
（以上、全員一致で可決）

任期満了に伴い各委員会委員を選任しました。
（○委員長、○副委員長）

総務教育常任委員会

橋本 恒、吉田保雄

任期満了に伴い各委員会委員を選任しました。
（○委員長、○副委員長）

常任委員会、議会運営委員会委員の選任

橋本 恒、吉田保雄

議会運営委員会

橋本 恒、寺垣智章

議会だより調査特別委員会委員の選任

橋本 恒、寺垣智章

議会だより調査特別委員会委員の選任

橋本 恒、寺垣智章

7月28日臨時会

一般会計補正予算

全町民に一人5千円分の宿泊飲食券を配布、国の特別定額給付金の対象にならない新生児に一人10万円の現金給付など、

人事

教育委員会教育委員の任命に同意しました。

任期は、10月14日から4年間です。（敬称略）
森本 昌和（恩志）

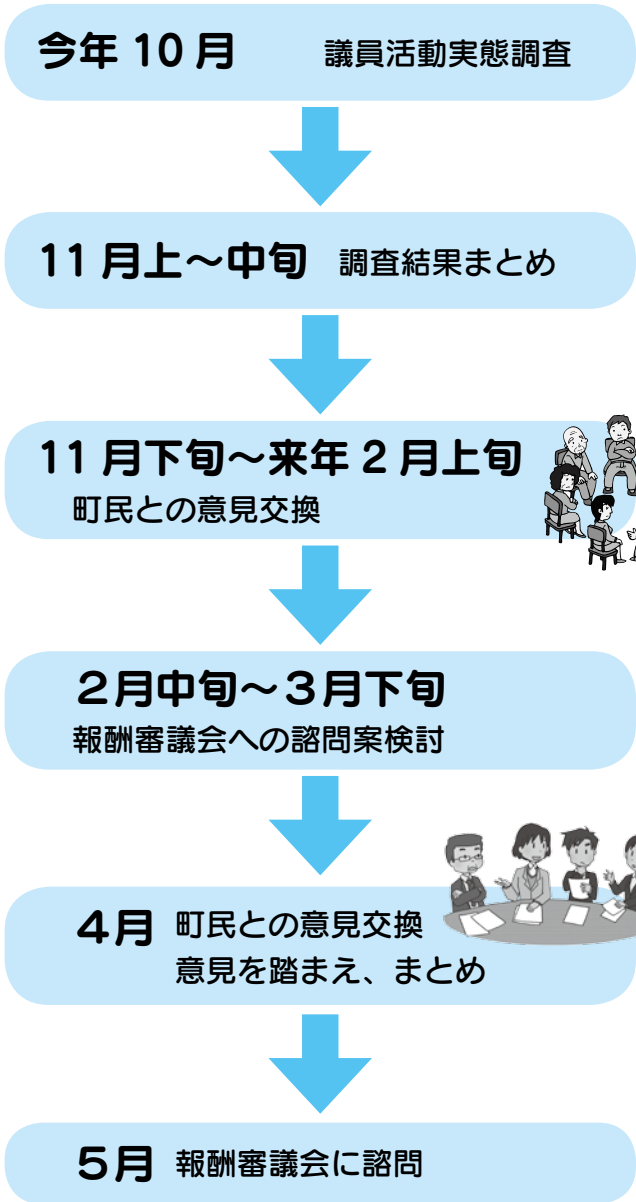
議会活動の在り方検討特別委員会

議員活動と 議員報酬について

町民との

意見交換

を予定



議会活動の在り方検討特別委員会は、昨年12月に議員報酬のあり方の検討を開始しました。

全国町村議会議長会の「町村議会議員の議員報酬等のあり方」最終報告の勉強を入り口に、会津若松市議会及び葉山町議会の報告、実践などに学んできました。

この間、議会公開にも取り組んできましたが、まだ緒についたばかりというところです。

次期改選まで2年を切りました。町民との意見交換の時期を決めました。同時に、現行の議案審議の進め方の再検討を開始しました。この検討は、審議の進め方にとどまらず、議会公開・見える化の更なる進展につながるものと考えています。

議員と町民が、ともに自治の力を高める主体として、切磋琢磨し合う関係を築き上げることを願っています。

一般質問 6議員が町政を質す^{ただ} (次ページからご覧ください)

9月定例会の一般質問 (登壇順)

質問議員	ページ	質問事項 (通告書のまま)
吉田保雄	8	1 PCR検査 (新型コロナウイルス感染確認) の対応準備に関する町民への説明について 2 町内経済活動の活性化、特に観光事業の振興に関する取り組みについて 3 鳥獣害の広範囲多発状況下でのさらなる対策について
杉村 宏	9	1 学校教育は転換するのか 2 岩井快速便は失敗か
森田洋子	10	1 コロナ禍においてのさらなる支援策について 2 新型コロナ感染症対策に配慮した避難所開設、運営を 3 「おくやみ窓口」の設置について
川口耕司	11	1 新型コロナウイルス感染症に配慮した防災対策について 2 新規就農者、担い手の確保について
升井祐子	12	1 日本一ストレスの少ない地域を人口増加に生かせないか 2 パーベキュー客のマナーの悪さへの対処について
田中克美	13	1 一事業所・者も倒産させない支援のために 2 人格なき社団も持続化給付金の対象とすることを国に求めることについて 3 「気候非常事態宣言」と「行動計画立案」について

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。会議録は、12月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

新型コロナの検査体制はどうか
吉田 保雄議員

現行の検査より精度が高くなる
西垣町長



吉田保雄議員

吉田 新型コロナウイルス感染の検査体制はどうか。

町長 PCR検査と抗原検査の2種類があり、保健所又は医師が必要と判断すれば行われる。岩美病院で行っているのは抗原検査だ。

現在は、簡易キットで行っているが、12月に機器を導入し、検査の精度が高くなる。

吉田 自主検査に、費用助成を考えないか。

町長 県内で、自主検査に費用助成している市町村はない。

パワースポットを発掘してはどうか
吉田 保雄議員

関係の方々との協議したい
西垣町長

吉田 新型コロナウイルスで大きな影響を受けている地域経済の活性化が必要だ。農水産品の販売促進や地産地消へ更に支援を。

町長 町内農水産品を町費で給食材料にしたり、岩美がんばれ若者小包として、町出身大学生に無償で届けている。



東浜の慰霊塔と夕焼け

吉田 東浜の慰霊塔など、新たなパワースポットを発掘整備し、観光の目玉としてはどうか。

町長 慰霊塔は、観光誘致にはなじまないと思う。新たなパワースポットは、地域の方や観光協会と協議していきたい。

吉田 国や県のGOTOキャンペーンと連携した観光事業の活性化対策を。

町長 7月臨時議会で誘客事業を予算化した。感染の再拡大により見

合わせているが、時機を見て実施したい。

吉田 名誉町民の澤田廉三氏をNHK大河ドラマにと、町民が挑戦中だ。町を全国に知らしめる一つの方策だ。

中央公民館に事務局と資料室を設置してはどうか。

町長 図書館に郷土コーナーを設けて、町の偉人や文化を紹介している。事務局設置でなく、広報やNHKへの働きかけには協力していきたい。

鳥獣害の低減へ更なる対策を
吉田 保雄議員

吉田 害獣減少の取り組みを強化して、田舎暮らし日本一と言われる町を維持していただきたい。

向けて、捕獲目標数を増やして取り組んでいる。

鳥獣害防止は、害獣の侵入防止と、個体数減を基本に行っている。

町長 岩美町鳥獣害防止計画に沿って取り組んでいる。国の生息数半減目標に

端末の持ち帰りはどうか

杉村 宏議員

現在は想定していない

寺西教育長



杉村 宏議員

学校は鳥教ネット（鳥取県教育情報通信ネットワーク）回線を使い、独自回線は管理の方法などで困難であり、鳥教ネット増強を原に要望している。

杉村 小・中学校の生徒1人に情報端末1台を配備するGIGAスクール構想の実現目標を2023年度から2020年度に前倒しし、本町でも実現する。

校内ネットワーク、Wi-Fi環境の状況はどうか。

教育長 1ギガ対応だ。

杉村 町内4校の全生徒・教職員が同時に、動画視聴も含め、4校全体でストレスなくアクセスできる能力か。

教育長 対応可能と聞いているが、不安はある。

現在考えていないということとは、あまりに無責任だ。

各児童・生徒は、個人としてスマートフォンを所有している方々もある。スマートフォンを持っていない子どもは、自宅で検索しようと思つたらできない。

しかし、持っていない子どもは、貸与されるタブレットを持って帰れないので、家では検索など

ができない。フォー・オールの考え方として、どうか。

教育長 将来的にはフォー・オールに近づけたいと思う。

しかし、その方法や実施する上での課題などを解決しなければならぬ。現状では、日常的に家庭と学校を結んだオンライン授業は想定していない。



児童、生徒が現在使用している端末
左が小学生用のタブレット、右が中学生用のパソコン

杉村 一人一台の端末整備について、保護者の方々に対する説明はどうか。

教育長 町教育委員会や各学校の取組を説明する機会が必要だ。

岩井快速便は失敗か

杉村 宏議員

事業実績で廃止の判断だ

西垣町長

杉村 平成30年10月に新設された路線バス岩井快速便は、鳥取県関係の公費2000万円を超える支出が見込まれる中で、令和3年3月末での廃止が報告されている。

町民の利用がなく、鳥取県民の利用もないのに、補助対象にしている。岩井快速便は失敗だったか。

杉村 中核市である鳥取市を中心とした圏域内の交通手段の確保は重要だ。本町は従来から協議してきたか。今後はどうか。

町長 岩井快速便の運行開始に当たっては、新温泉町との協議の場はなかった。今後、申し出があれば対応したい。

町長 運行事業者がどう捉えているか分からないが、事業実績なども踏まえ、廃止の判断がなされたと思う。

みなし法人に支援を

森田 洋子議員

町独自の支援を検討

西垣町長



森田洋子議員

森田 これからインフルエンザの流行期になる。コロナ禍で発熱がある場合、岩美病院の対応、診療体制は万全か。

小谷病院事業管理者 8

月からコロナウイルスの簡易抗原検査キットを導入し検査をしている。発熱のある方は、まず電話で相談してほしい。

森田 みなし法人は納税もしているのに、持続化給付金の対象外だ。地域に貢献している事業経営を支えるべきだ。支援策はないか。

避難所運営の実践訓練をしないか

森田 洋子議員

地区ごとに運営訓練を実施したい

西垣町長

森田 台風シーズンを迎える。6月議会で、3密回避のため、緊急避難場所を考えると答弁した。決めたところはあるか。

町長 まだ決定していない。早急に各地区の自治会

運営体制、備品確保はどうか。



新型コロナウイルス感染防止のパーテーション（岩美病院受付窓口）

と協議をし、運営方法をきめたい。パーテーションなど備品の納品が遅れている。早急に確保する。

森田 今後、感染症対策も含めた運営手順の確認、実践的な避難訓練を早急に行わないか。

町長 避難所の運営は、今まで以上に自治会、自主防災組織の協力が必要だ。町としての避難所運営マニュアルを作成、地区ごとに運営訓練を実施したい。

おくやみ窓口の設置を

森田 洋子議員

ワンストップに近い対応をしている

西垣町長

森田 住民の死亡に伴う手続きが、1カ所で申請受付できれば、時間短縮、心理的負担軽減につながる。

ハンドブックを作成し、死亡届提出時に配布してはどうか。

森田 政府は5月、おくやみコーナー設置自治体支援ナビを開発、作成した。

ワンストップで担う、おくやみ窓口の設置を考えないか。

町長 町は、一覧表にしたパンフレットを配布している。

ハンドブックは考えていないが、役場以外の手続きも加え、分かりやすく便利なものに改善したい。

町長 来庁者が窓口を移動するのではなく、各課の職員が移動することになっている。

ワンストップに近い対応をしている。設置は考えていない。

避難所確保は感染症を考慮せよ

川口 耕司議員

緊急避難所を活用して密を避ける

西垣町長



川口耕司議員

人となり、大規模災害が想定される場合は対応が難しい。

避難者が収容人数を上回る事が想定される場合は、地区の社会体育施設、コミュニティセンターなど緊急避難所の活用を考えている。

それでも不足するとき

は、各自治会や自主防災組織が指定している一時避難所の利用など、柔軟に対応したい。

避難所の数が多くなれば、運営に当たるスタッフも必要になる。

どのように考えているか。

町長 台風、大雨などが想定されるときには、町職員で指定避難所の運営を行っている。

コロナ禍の状況で避難所運営を考えると、町職

員だけの対応はできない。

各地区自治会長と緊急避難所の選定、運営も含めた協議を早急に行い、

万一の災害に備えたい。

町長 感染症対策を考慮した避難所運営では、今備えている資機材だけでは、万全の運営は難しいと思う。

指定避難所における資機材、備蓄などの整備状況はどうか。

町長 備蓄品などについては、今まで備えているものだけでは不足する。

感染症対策用として、町全体でマスク2万3000枚、消毒用アルコール50リットル、非接触型体温計10個を新たに準備し、役場に保管している。

また、段ボールベット195セット、パーテーション50セット、屋内用テント135張を発注している。

指定避難所5カ所の敷地内に、資機材、備品を保管する防災倉庫の整備を進めている。

町長 県との連携備蓄品の中の食糧的なものは、防災倉庫に配置する予定はあるか。

村島総務課長 連携備蓄品として、アルファ米、ミルク、保存水などがあ

る。収容人員など勘案して配置したい。

町長 感染症対策により、例年と同様の防災訓練は難しくなると思う。

本年度の訓練に向けて検討しているか。

町長 例年10月に開催している町全体の防災訓練は、3密を防ぐという観点から中止とした。

各地区において、感染症対策を踏まえた避難所の運営訓練を実施するよう、自治会長と調整中であり早急に実施したい。

町長 町内5つの郵便局と先月、地域の防災や減災に連携して取り組む包括連携協定を締結し、防災啓発活動協議会を発足したが、構成メンバー、今後の活動計画はどうか。

町長 郵便局員、町職員、民生委員、消防署の元職員などで、防災士の資格を持っている方で構成している。

今後の活動は、各地区で開催する避難所運営訓練、研修会での講師派遣、高齢者世帯などに対しての家具の転倒防止対策などだ。

町民の安全・安心、防災意識の向上が図られるものと期待している。

その他の質問

新規就農者、担い手の確保について



感染症対策を考慮した避難所訓練
(網代地区自治会)

町長 指定避難所5カ所の、屋内部分の収容人数は1395人である。

国、県の指針で示されている2メートル程度の間隔を保つと、指定避難所5カ所の合計は435

町長 指定避難所として町では、5施設を指定しているが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した避難所運営では、通常の4分の1程度の人数しか受け入れができなくなるかとされている。

町が指定している避難所の受け入れ可能人数で、対応できると考えているのか。

人口増加に向け更に働きかけを
升井 祐子議員

PR・支援策など可能性を
西垣町長



升井祐子議員

升井 全国の20歳から69歳の男女7万人を対象に生活上の悩みや不安について調査し、昨年、今年と2年連続で、鳥取県が女性のストレスオフ県ランキングで、1位となった。

環境も良く、災害もコロナ感染の危険性も少ない鳥取県の一員である本町の長所をPRしつつ住みたくなる町として、人口増加に取り組みめないものかと思う。

一方で、若い世代が都市圏に流出し、そのため若い人の出会いが少なく、独身者が多く人口減少の要因となっている。これに対しての対策は、

町長 東部四町で合同婚活イベントの開催。イベント紹介サイトの案内も行っている。

また、町単独で親向け婚活セミナーと称し、結婚へ一歩踏み出すための周囲の関わり方などを紹介する講座番組を、ケーブルテレビで放映する準備を進めている。

升井 就職先がないことが、本町を出る理由のひとつになっているので、ビジネスを創出させ、若者が就職できる環境を整える必要がある。県内外の企業家に対し、更に踏み込んだ働きかけを。

町長 ホームページで町の支援制度をPRしている。

県の関係機関とも連携し、引き続き取り組みたい。

升井 中国大水害により、日本企業の工場を日本に回帰させようとする流れがあり、今が企業誘致のチャンスだ。ホームページ以外の情報発信は。

町長 可能なものは、全て利用するというスタンスで情報発信している。また棚田オーナー制度やアニメファンの交流イベントの支援など、人を呼び込む施策を展開している。



東浜海岸野外施設でバーベキューを楽しむ

バーベキュー禁止以外の工夫はないか
升井 祐子議員

既存施設の利用を呼び掛ける
西垣町長

升井 本町の海岸は、世界ジオパークの景勝地だが、バーベキュー、キャンプでのごみの不始末や騒音に、住民は悩まされている。

バーベキュー禁止もやむを得ないが、施設整備など工夫できないか。

町長 新たな施設を整備するのではなく、現在町内で、バーベキューができる東浜の野外施設、町民いこいの里の利用をお願いしたい。

升井 今後の自然災害に備え、火起こし、薪割り、非常食作りの体験型イベントの開催は可能か。

町長 既に行っている。体験活動は、利用促進につながるので、情報発信に努めたい。

升井 釣りスポットなどに公衆トイレがなく、その場で用を足す人が見受けられる。

町長 既存の公衆トイレの利用を呼び掛けたい。

升井 ごみポイ捨て禁止看板の工夫として、小中高校生の子どもたちに、標語や看板のデザインを考えてもらっては。

町長 既に子どもたちによる看板を作製し、設置済みの箇所もある。自治会の要望を取り入れながら、設置をしたい。

事業所の新型コロナの影響を調査せよ

田中 克美議員

聞き取り調査を行ないたい

西垣町長



田中克美議員

田中 新型コロナ禍のもと、事業所・事業者の支援は継続が必要だ。そのため、全事業所の影響と要望の調査を提案したい。

町長 町内事業者の実情、要望を把握することは、今後大切なことである。商工会などと連携しながら、聞き取り調査を行なって、さらなる支援策を検討していきたい。

田中 町の施策に反映させるとともに、町の要望として、県・国に支援策と財政措置を求めて行動を。



ゆかむり温泉

町長 町独自にできることは限られているので、国・県に要望していきたい。

田中 代表者又は管理人を決めている任意団体は、「人格のない社団等」として、収益事業を行ってれば法人税が課される。

任意団体も持続化給付金対象にせよ

田中 克美議員

他自治体と連携して国に言いたい

西垣町長

しかし、法人でないため持続化給付金が受けられない。

岩井温泉の共同浴場、網代のなだばたは、新型コロナの影響で大幅な減収となっているが、「人格のない社団」のため、持続化給付金の対象とならない。

「法人税も消費税も、源泉徴収した所得税も納めているのに、対象でないのは納得できない」という声は当然だ。

政府は、「きちんと事業を行なっているか、給付金が事業継続に使われるのか、政府は判断できない」としている。

政府の懸念を町が払しょくできると政府に提起し、他自治体と連携して、実現に努めよ。

町長 不合理だと感じている。団体の実態は町がいちばん知っている。連

携して国にモノ申していきたい。

制度を変えるよう県に求めよ。

田中 県の制度融資でも法人でないため対象外とされている。

町長 制度改正を県に働きかけていきたい。

気候非常事態宣言に取り組め

田中 克美議員

問題意識をもって取り組みたい

西垣町長

田中 気候変動が表に表れる事態になれば、気候変動自体の被害者が膨大になり、感染症の被害者数もけた違いになる。

町も気候非常事態宣言と行動計画立案に取り組んではどうか。

町長 宣言を否定するものではないが、具体的な計画を実行することが重要だと考える。

総合計画に掲げたごみ減量、リサイクル推進などを実施することで、温室効果ガス削減に努めた

田中 産業革命以前と比べて2050年の平均気

温上昇を、1・5℃以下に抑えるためには、2030年より前に、世界全体の二酸化炭素の排出量が減少し始めることが決定的だ。

総合計画ではすまない事態だと認識して、非常事態宣言と行動計画を出すことが大事だ。

町長 問題意識を持って取り組みたい。

宣言の内容、行動計画、町としてどこまでできるのかなど、今後検討したい。

岩美中部活 にエール

みんなでコロナを乗り越えよう!!

新型コロナの影響で、中学校最終学年生徒が部活動成果を発揮する大会が中止や縮小される中、どのように部活のモチベーションをあげているか聞きました。前号に引き続き、5つの部活を紹介します。

(写真提供：岩美中学校)



弓道部

部長 山本 惺志朗

私たちは、毎日の練習で、お互いに改善点を教え合っ
て、練習に取り組んでいます。



吹奏楽部

部長 上野 桜

今年はステージが少ない中、文化祭で演奏できることに感謝し、今まで以上に、練習に取り組んでいきたい
と思います。



美術部

部長 中土井 海翔

美術部は、手先が器用で細かい作業が得意なメン
バーが集まっています。個々での作業が多いですが、
みんなで楽しく活動しています。



茶道部

部長 平田 隼斗

今年は、文化祭のお茶会がステージ発表になりました。多くの人にお点前を披露するチャンスなので、こ
れまでの総まとめのつもりで頑張っています。



華道部

部長 山根 美鈴

全体のバランスを考えて、みんなが工夫してお花を
いけています。花や木の名前をたくさん覚えることが
できて楽しいです。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
升井	森田	吉田	寺垣	川口	柳本	橋本	田中
祐子	洋子	保雄	智章	耕司	正敏	克恒	美明

【発行責任者】

議長 足立 義明

9月議会では、一般
質問の6議員中4議員
が、コロナ対応を取り
上げました。
町は、4、5、6、7月
に引き続き、9月補正
予算で、国の臨時交付
金を活用し、コロナ対
応の独自施策を打ち出
しました。
その筆頭が、1歳以
上の全員へのインフル
エンザ予防接種無料で
あり、町内開業医に対
する支援金です。
どちらにも、全国自治
体に先駆けた独自施策
だと思えます。
自立した町だからこ
その踏み出しであり、
単独自立を選択した成
果です。

田中克美

編集後記